

1. 本県周辺海域の概況(図1, 8/10現在)

- ・黒潮の流型は、B型で推移しています。黒潮の本流は、犬吠埼をかなり離岸した状態で本県沖合を東に流去しています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯41° 30' 東経143° 30' 付近(尻屋崎沖)にあります。親潮の面積は平年よりかなり小さめとなっています。また、東北海域の海面水温は平年より高めで推移しています(気象庁7/31発表)。
- ・茨城県海域では、黒潮からの暖水波及の影響が残っています。

2. 海洋観測結果(8/3～5:調査船「いばらき丸」)

- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2～9に示しました。また、各定線の鉛直水温図を図10～13に、会瀬・鹿島定線の鉛直水温図(前月差)を図14～15に、鉛直水温図(平年偏差)を図16～17に示しました。
- ・東経142度までの海面水温は、会瀬沖で23.1℃～26.6℃, 大洗沖で21.7～26.2℃, 鹿島沖で22.8～27.6℃, 犬吠埼沖で23.7℃～27.7℃でした(①, 図2)。
- ・前月と比べると、鹿島～犬吠埼沖の一部を除いて、表層～200m深の全層・全域で昇温しました。特に表層では、昇温幅が大きくなっています(②)。
- ・平年と比べると、表層～200m深まで概ね全域で「平年並み～やや高め」で、会瀬定線および沖合域では「平年より高め」となっている海域もあります(③)。
- ・潮流の特徴として、鹿島～犬吠埼定線の沖合域で黒潮が観測されました。また、沿岸域では、逆潮(南向き)～込潮(西向き)傾向の潮流が観測されました。

3. 今後1か月の見通し

- ・現在B型で流去している黒潮は、8月中旬にC型に移行し、9月に入っても継続してC型で推移するとみられます。
- ・親潮の面積は平年よりかなり小さめで推移する見通しです。親潮第一分枝の先端は北緯41° 00' 東経147° 00' (八戸はるか沖)に位置するとみられ、親潮系冷水は本県沖に直接影響しないとみられます。
- ・水温を平年と比べると、表層・100m深とも「平年並み～やや高め」で推移するでしょう。

